

【情報公開用の研究概要】

・研究目的

アトピー性皮膚炎を抱えた子どもにとって母親はキーパーソンです。アトピー性皮膚炎に対するケアの中心が、母親から自分へと移行する思春期の患児に、こういった療養行動をとることで、子どものケアへの積極性が向上するのかを明らかにします。そのことにより、患児そして母親への看護援助の示唆を得ることを目的とします。

・研究の意義

研究の結果示唆された看護援助により、アトピー性皮膚炎を抱えた児とその母親に適切な看護介入をすることで、子どもはよりセルフケアへの積極性が向上し、互いのストレスを軽減できると考えます。

・研究方法

対象者の方に対してインタビューガイドを用いた半構造面接を行い、その語りから研究疑問の内容を抽出し、質的記述的研究方法を行います。

・個人情報保護の方法

研究で得られたデータは本研究以外では使用せず、個人が特定できないように管理いたします。また、研究の成果を卒論発表会や学会、学術雑誌で公表する際は、個人を特定するような情報は一切公開いたしません。

・問い合わせ先

研究責任者 名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 小児看護学講座

教授 浅野 みどり

〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20

TEL/FAX 052-719-1567

メールアドレス midoria@met.nagoya-u.ac.jp

研究担当者 名古屋大学医学部保健学科看護学専攻4年 中尾 朱里